

整形外科カリキュラム

I 研修スケジュール

整形外科は四肢並びに脊椎の骨、関節系を中心に扱う外科臨床分野である。当院においてはその地域的特性から外傷及び変性疾患の診療が中心となる。臨床研修の目標としては外傷を中心とした整形外科救急疾患の診察、診断、治療法、術前術後管理を数多く経験することを目標とした。

1 研修スケジュール

	1月目	2月目	3月目
研 修 場 所	外来 救急外来 病棟 手術	外来 救急外来 病棟 手術	外来 救急外来 病棟 手術
内容	外傷性疾患の診察・所見のと り方・X線写真の見方・診断	外傷性疾患の術前・術後管理 と保存的治療の実際	外傷性疾患の手術的治療と後 療法についての実際

2 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	病棟回診	外来	外来	外来
午後	リハビリテー ション回診 及び 救急外来	手術 及び 救急外来	病棟ミーティ ング 及び 救急外来	手術 及び 救急外来	手術 及び 救急外来

II 研修目標

1 一般目標 (GIO: General Instructional Objectives)

- (1) 特有の研修内容 運動器救急疾患・外傷に対応できる基本的診察能力と正確に記載する能力、及び診断と安全な治療を行うための基本的手技を習得する。
- (2) プライマリケアとの関連 外傷の診察及び治療はプライマリケアそのものである。
- (3) 基本的知識の習得 運動器・神経系疾患の診断、ギプス固定法などの基本的な保存的治療法、基本的な手術的手技の習得を目指す。

2 行動目標 (SBO: Specific Behavior Objectives)

- (1) 当科研修において特に経験すべき診察法・検査・手技
 - 1) 基本的整形外科診療能力
 - ① 問診 問題の解決に必要なかつ十分な問診を取ることができる。
 - ② 診察 視診・触診・関節可動域評価・筋力評価・神経学的評価を行うことができる。
 - ③ 記録 適切な病歴・所見・検査結果の記載ができる。
 - 2) 基本的整形外科臨床検査
 - ① 外傷の診察・治療に必要な諸検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して患者及び家族にわかりやすく説明することができる。具体的項目としてX線、CT、MRI、血液検査、穿刺がある。
 - 3) 基本的治療法
 - ① 薬物治療
薬用量・副作用を理解した上で薬剤を選択し処方箋を発行することができる。
 - ② 注射の施行
静脈路確保、関節穿刺、動脈血採血を行うことができる。
 - ③ 保存的治療手技
ギプス固定、脱臼の整復などを行うことができる。
 - ④ 外科的治療手技
切開、縫合、小手術などの基本的手技を行うことができる。
- (2) 経験すべき症状・病態・疾患
 - 1) 頻度の高い症状
 - ① 肢及び背部の疼痛
 - ② 歩行障害
 - ③ しびれ
 - 2) 緊急を要する症状・病態
 - ① 外傷
 - ② 脊髄麻痺
 - 3) 経験が求められる疾患・病態
 - ① 骨折
 - ② 脱臼
 - ③ 靭帯損傷
 - ④ 捻挫
 - ⑤ 打撲

⑥ 脊柱障害

- (3) 整形外科研修項目 (SB0 の B の項目) の経験優先順位
- 1) 経験優先順位第一位 (最優先) 項目 骨折、脱臼
 - 2) 経験優先順位第二位項目 開放創の処置
 - 3) 経験優先順位第三位項目 脊柱障害